ICT研究開発支援セミナー2025

－九州総合通信局とNICTが連携して地域のICT研究開発を支援－

開催日時　令和７年２月１２日（水）１４時15分から16時30分まで
（開場13時45分）

開催方法　【会場】熊本城ホールA4会議室
＜定員70名＞
熊本市中央区桜町3－40
【オンライン配信】
YouTube
＜定員なし＞

参加無料



プログラム

14:15-14:20	開催挨拶：総務省九州総合通信局　局長　中西　悦子
14:20-15:00	【ICTによる地域課題解決の取組紹介】 演題：「行動変容と交通インフラの動的制御によるスマートな都市交通基盤技術の研究開発」 講師：東京大学大学院　情報理工学系研究科　ソーシャルICT研究センター 准教授　伊藤　昌毅　氏
15:00-15:30	【大学における研究開発事例の紹介】 演題：「データ駆動型観光回遊に関する研究開発」 講師：早稲田大学理工学術院　情報生産システム研究科　講師　家入　祐也　氏
15:30-16:00	【NICTの委託研究紹介】 演題：「ICTを用いたインフラサウンド高密度観測の実証実験」 講師：九州大学理学研究院　地球惑星科学部門　准教授　中島　健介　氏
16:00-16:30	【NICTの研究開発の紹介】 演題：「音声マルチスポット再生技術に関する研究開発」 講師：NICTユニバーサルコミュニケーション研究所　研究マネージャー 岡本　拓磨　氏

展示デモコーナー　13:45～14:10　16:30～17:00
○NICT研究開発紹介「音声マルチスポット再生技術」の実演コーナー
○パネル展示　地域連携、研究取組の紹介等

● 申込方法　参加希望の方は**２月４日(火)１７時まで**に以下のURL
またはニ次元コードからお申し込みください。
参加申込URL：https://www.kiai.gr.jp/n-runner/R6/runner05.html
「ICT研究開発支援セミナー2025」で検索

● お問い合わせ先　九州総合通信局 情報通信部 情報通信連携推進課
TEL：096-326-7319　Email:renk@ml.soumu.go.jp

主催等
共催：総務省 九州総合通信局／国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）／
一般社団法人九州テレコム振興センター（KIAI）
後援：熊本県／熊本市／一般社団法人九州経済連合会／九州商工会議所連合会／
一般社団法人電子情報通信学会九州支部／公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）
協賛：九州電波協力会

講演内容

演題：「行動変容と交通インフラの動的制御によるスマートな都市交通基盤技術の研究開発」
講師：東京大学大学院　情報理工学系研究科　ソーシャルICT研究センター
准教授　伊藤　昌毅　氏

都市交通の利用者、バスやタクシーなどの車両、信号機などの交通インフラがセンサを備えネットワーク化された環境において、リアルタイムにそれぞれを制御することにより、地域に最適な都市交通を実現する基盤技術の研究開発を紹介します。

演題：「データ駆動型観光回遊に関する研究開発」
講師：早稲田大学理工学術院　情報生産システム研究科　講師　家入　祐也　氏

国内の観光地における旅行者の移動や行動を理解することは、オーバーツーリズムの解消や地域の活性化につながります。ICTを活用して得られた旅行者のデータと、観光学の知見を組み合わせることで、新しい観光回遊を実現する研究開発（R5年度公益財団法人北九州産業学術推進機構（FAIS）研究開発プロジェクト支援事業の成果を含む）を紹介します。

演題：「ICTを用いたインフラサウンド高密度観測の実証実験」
講師：九州大学 大学院理学研究院　地球惑星科学部門　准教授　中島　健介　氏

R4-R6年度NICT委託研究課題番号22605「地域防災のための多地点微小気圧変動計測パッケージの標準化と都市近郊・中山間部における市民協力型実証実験」でR6年度に福岡市の公民館等45ヶ所に展開した超低周波音「インフラサウンド」の高密度観測の実証実験について、その背景、観測結果の概要、そして、ゲリラ豪雨、津波などに対する防災にむけた活用への課題を紹介します。

演題：「音声マルチスポット再生技術に関する研究開発」
講師：NICTユニバーサルコミュニケーション研究所　研究マネージャー
岡本　拓磨　氏

音が聞こえるエリアと聞こえないエリアを多数のスピーカを用いて実現する局所再生を発展させ、エリアによって異なる音を提示可能な音声マルチスポット再生技術の紹介と、本技術の応用によって様々な分野において、「新しい音空間」の創出が可能となること等を紹介します。

その応用例として、NICTが開発した多言語同時通訳技術と音声マルチスポット再生を用いた多言語同時会議システム等について紹介します。